

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年03月31日

計画の名称	亀岡市における安全・安心な公共下水道整備（防災・安全）（第2期）											
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）										重点配分対象の該当	
交付対象	亀岡市											
計画の目標	下水道施設の長寿命化・耐震化整備を図るとともに、雨水の流出抑制及び資源の有効利用に努め、安心・安全に暮らせるまちづくりを推進します。											
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	2,256	A	2,256	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H31末)
1	亀岡市年谷浄化センター（終末処理場）の耐震化整備 耐震化整備率（終末処理場内施設数に対する耐震化済施設数の割合） （耐震化済施設数） / （終末処理場内施設数（施設数36）） × 100	44%	52%	55%
2	亀岡市年谷浄化センター（終末処理場）の長寿命化実施 長寿命化実施率（計画期間内の改築施設数に対する改築済施設数の割合） （改築済施設数） / （改築施設数（施設数36）） × 100	0%	60%	100%
3	市内の個人等に対し、雨水貯留施設設置助成の推進 雨水貯留施設設置率（計画期間内の雨水貯留施設設置の達成率） （雨水貯留施設設置基数） / （雨水貯留施設設置総基数） × 100	0%	33%	100%
4	スtockマネジメント計画に基づく、下水道施設全体の計画的な点検・調査、修繕・改築更新 Stockマネジメント計画策定進捗率 （策定済み詳細版Stockマネジメント計画数） / （策定すべき詳細版Stockマネジメント計画数（1計画）） × 100	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名(事業箇所)	事業内容(延長・面積等)	市区町村名/港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費(百万円)	費用便益比	個別施設計画策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
下水道事業	A07-001	下水道	一般	亀岡市	直接	亀岡市	終末処理場	改築	亀岡市年谷浄化センター耐震化対策	水処理施設及び沈砂池ポンプ施設の耐震対策	亀岡市						704		-	
		耐震化																		
	A07-002	下水道	一般	亀岡市	直接	亀岡市	終末処理場	改築	亀岡市年谷浄化センター長寿命化対策	水処理施設、沈砂池ポンプ施設、汚泥処理施設長寿命化対策及び次期計画策定	亀岡市						1,193		策定済	
		長寿命化																		
	A07-003	下水道	一般	亀岡市	間接	個人	管渠(雨水)	新設	雨水貯留施設設置助成金交付事業	雨水貯留施設設置事業費補助	亀岡市						5		-	
		新世代																		
	A07-004	下水道	一般	亀岡市	直接	亀岡市	終末処理場	改築	亀岡市年谷浄化センター下水道ストックマネジメント支援事業	下水道施設のストックマネジメント計画策定と対策工事等の実施	亀岡市						354		未策定	
		ストックマネジメント																		
												小計						2,256		
												合計						2,256		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 亀岡市上下水道部下水道課において実施	事後評価の実施時期 事業終了後
	公表の方法 市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・亀岡市年谷浄化センターにおいて、施設の耐震化工事を計画的に行うことができ、災害時に下水道として機能を確保することができた。 ・亀岡市年谷浄化センターにおいて、施設の長寿命化工事を計画的に行うことができ、設備の老朽化による処理機能低下を未然に防止することができた。 ・雨水貯留施設の設置助成を行ったことによって、計画的に雨水貯留施設の設置ができ、市民が防災・減災の意識を高めることができた。 ・亀岡市ストックマネジメント計画を策定し、今後の施設の下水道施設全体の計画的な点検・調査、修繕・改築更新の計画ができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
令和2年度から令和6年度（5年間）の社会資本総合整備計画を策定し、引き続き下水道の整備を推進します。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	耐震化整備率	
	最終目標値	55%
	最終実績値	61%
計画的に耐震化工事を行うことができ、当初計画していた以上に施設の耐震化ができた。		
2	長寿命化実施率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
3	雨水貯留施設設置率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	101%
雨水貯留施設設置助成事業の広報活動を積極的に行い、計画以上に雨水貯留施設を設置できた。		
4	ストックマネジメント計画策定進捗率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%